

平成30年京都舞鶴港の取扱貨物量について

～京都舞鶴港の取扱貨物量が9年連続で1,000万トンを超えました！～
 ～京都舞鶴港の下半期（7～12月）のコンテナ取扱量（実入）が過去最高を記録！～

平成31年2月19日
 京都府商工労働観光部経済交流課
 電話：075-414-4844
 京都府港湾局港湾企画課
 電話：0773-75-0192

京都府では、京都舞鶴港の平成30年（1～12月）の取扱貨物量について取りまとめたところ、取扱貨物量が全体で**1,082万トン**となり、**9年連続で1,000万トンを超えました**のでお知らせします。

また、コンテナ取扱量は、年間では平成29年を下回りましたが、**下半期（7～12月）で半期としては過去最高の7,043TEU（実入）**を記録し、全体でも**過去最高の平成29年と同程度の13,326TEU（実入）**となりました。コンテナ取扱量（トン数）についても**過去最高の264,884トン**を記録しました。

引き続き、京都府、舞鶴市及び（一社）京都舞鶴港振興会が連携して積極的なポートセールスを実施し、韓国コンテナ航路の共同配船による利便性の向上等のアピールや北部地域を中心に立地企業の集貨等に取り組み、取扱貨物量増加を目指していきます。

1 貨物量及び主要貨物（重量ベース）の状況 （単位：千t）

区分	平成30年	前年比	摘 要
総 数	10,824	93.2%	9年連続1,000万トン超過
外 貿	4,194	79.1%	
石 炭	3,528	76.1%	火力発電所定期点検による減
中古車	99	96.3%	寄港回数減による微減
製造食品	17	8588.4%	背後圏の食品製造工場による輸出入開始に伴う増
内 貿	6,630	105.1%	
北海道フェリー	5,494	108.7%	内貿貨物全体に占める割合：82.9% 前年より増。

2 コンテナ取扱量

区分	平成30年	平成29年	増減	前年比
コンテナ取扱量 （実入）	13,326TEU 上半期 6,283 下半期 7,043	13,402TEU 上半期 6,919 下半期 6,483	-76TEU	99.4%
コンテナ取扱量 （空コン込の総数）	18,623TEU	19,272TEU	-649TEU	96.6%
コンテナ取扱量 （トン）	264,884トン	264,651トン	+233トン	100.1%

【主な増減理由】 （注）TEU…長さ20フィートコンテナを基準（1TEU）とするコンテナの取扱個数の単位

（増）背後圏立地の食品製造工場増床による製造食品の輸出入の増

（減）冬季の荒天による寄港回数の減

中国のリサイクル品輸入規制による古紙等輸出の減

